

輸送の安全に関する内部監査記録

有限会社さつま観光バス

実施日：平成29年12月21日

監査者：取締役 宇都眞由美

監査内容

① 規則・帳票の整備

九州貸切バス適正化センターの巡回監査において、バス事業と人材派遣事業を区別して点呼簿を作成するよう指摘があった。また、指示書において運行経路が変更された場合の記載欄はあるものの詳細な記載がなされていなかった事が指摘されたので、今後は確実に記載するよう要望する。

今年度も、運輸規則など変更が多かったので、常に情報に注意し最新の規則に対応するように心がけてもらいたい。

② 運行関係

大型の新車導入以来、長距離の団体の依頼が増えてきたように思われる。慣れない道路や場所を走行することもあるが、事前の準備をしっかりと安全な運行に心がけていただきたい。

春のシーズンに、回送中ではあったが右後から煙が出る、エンジンオイルが漏れるなどの車両故障が目立ったように思われる。その後の処置や取組みが良かったのか秋のシーズンには車両故障は何もなく乗り越えられた。今後も同様の取組みを継続して車両故障が最低限に抑えられるよう取り組んで貰いたい。

一般道で時速60Kmを超えないように指導していることはとてもよい事なので今後とも継続し、さらに他社の事故を教訓として車間距離の適正な保持についても重ねて指導して頂きたい。

③ 過労防止

弊社では長距離運行が少なく、効率よく配車できているため深夜運転や極端な長距離運転は少ないが、②運行関係でも触れたように今後は長距離運行が増えると思われる。乗務員の前後の運行状態、道路の知識、体調などを踏まえた配車を行うことにより、過労防止に努めていただきたい。

④ 健康管理

定期的に健康診断を受診している。

乗務員も高齢のため各自の健康管理をよりいっそう促したい。

今年度初めてSASの検診を2名の乗務員に受診させたようだが、その後の指導や、乗務員自身の自覚や正活に変更を加えたかの確認作業の記録がなかったので、その後のフォローを確実に行き、記録するべき。

⑤ 苦情処理

お客差からの苦情はなかったみたいだが、エージェントからの指導が多かったように思われる。特に運行前のシートベルト着用のアナウンスに関しては複数のエージェントから確認が来ているようだ。もしもの時の事故防止のためにもシートベルト着用のアナウンスを確実にを行うよう指導していただきたい。

⑥ その他

12月に全車両にドライブレコーダーを装着いたしました。ドライブレコーダーを用いた指導もしていかなければいけません。今までは「危険予知トレーニング」のDVDを用いて行っていたようですが、自社の映像を使用しての指導は始めてですから、確実に取り組んでもらいたいと思います。

人手不足も深刻な問題です。余裕を持った配車をするためには人材確保に取り組んでいただきたい。